

高校ラグビー選
高県

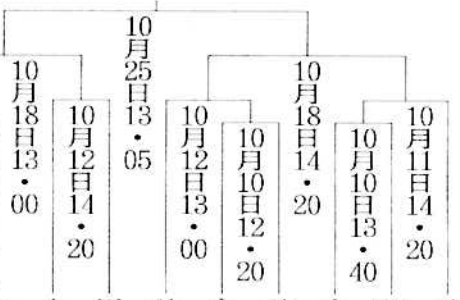
中央、秋工軸にV争い

11校出場、来月10日開幕

10月10日に秋田市八橋球技場で開催する第88回全国高校ラグビー大会県予選の組み合わせ抽選会が10日、同市のアキタパークホテルで行われ、

出場する11校の対戦カードが決まった。6月の全県総体で4強入りした秋田中央、秋田工大、秋田、男鹿工の4校をシードし、残り7校がくじを引

いて対戦相手を決めた。全国大会(12月27日～1月7日・近鉄花園ラグビー場ほか)の出場権を懸けた優勝争いは、昨年の覇者・秋田中央と、同じ



秋田工 明桜 大館工 秋田南 秋田 金足農 秋田 男鹿工 小坂 大館鳳鳴 能代工 秋田中央



全県総体で優勝した秋田中央は、11日の2回戦で能代工―大館鳳鳴の勝者と対戦する。BK陣のスビードを生かした得意の展開ラグビーで、秋田市立時代を含め初の連覇に挑む。

昨年準優勝の秋田工は、今春6年ぶりに復帰した黒澤光弘監督の下、3年ぶりの花園出場を目指す。全県総体で秋田中央を苦しめた伝統の強力FWは健在。まずは初戦を確

各校主将がくじ引きで対戦相手を決めた全国高校ラグビー大会県予選の組み合わせ抽選会

秋田県ラグビー協会 理事長

「試験的実施ルール」影響は

戦術の変化注目

秋田中央優位に拍車か

第88回全国高校ラグビー大会で導入されている「試験的実施ルール」の下で行われる。出場の各々の戦い方にどんな影響を及ぼすか、注目される。ことし5月、IRB（国際協会）の秋山渉レフェリー委員

きよつゆの試合

▽1回戦

能代工（11・00）大館鳳鳴
金足農（12・20）秋田南
大館工（13・40）明桜

長は「展開ラグビーを促進するための試験的ルールであることを理解してほしい」と各校に説明してきた。

変更点の中で秋山委員長が「影響が大きい」とした項目は、「防御側のモールの引き出し可能」「スクラム時のオフサイドラインを5メートル後方に

下げる」の2点。これによりモールで競る機会が減り、強力FWで押しまくるチームは不利、BKに速さと展開力のあるチームが優位になるとみられる。

BK陣のスピードがチームカラーで連覇を狙う秋田中央・古谷和義監督は「うちにはプラス面しかない」と歓迎の姿勢。ただ「ディフェンスに

合をするチームに不利」とみる。しかし、黒澤監督は「うちが春先から動き回れることを重視してきた。十分対応できる」と覇権奪回へ自信をうかがわせた。

同じく大型FWを擁する男鹿工・佐々木弘樹監督は「FW一辺倒ではなく、BKがしっかり動いて攻撃につなげる」、秋田・近藤周平監督は「いかに展開ラグビーの利点をつぶすかに力を注ぐ」と話しているのにも、今大会の見どころといえそう。

花園へトライ

高校ラグビー 県予選

11校激突

※メンバー表は左から氏名、学年、出身中学校、身長、体重。◎は主将

小坂

初戦にすべて懸ける

部長 小坂和枝 監督 山口清彰

男子生徒が全校で156人しかいない中、チームを編成するのは大変だったが、他の部を引退した3年生を助けるに頼み、今大会に出場できる。技術的なレベルはまだまだ低いが、気迫あふれるタックルでディフェンスに当たり、少ないチャンスを生かし、強豪男鹿からワントライを目指したい。初戦にすべてを懸け、さわやかにノースイドの笛を聞きたい。



(山口清彰監督)

大館鳳鳴

60分間魂のタックル

部長 高野 望 監督 石木田毅志

ことし創部60周年を迎えた大館鳳鳴ラグビー部。諸先輩たちの熱い激励を受け、選手たちは燃えている。主将の成田を中心にチームはまとまっている。ただ3年生が5人の若いチームなので、体を張り、ひたむきにプレーするしかない。それぞれの役割を果たし、守りを堅く、少ないチャンスを生かし得点したい。「魂のタックルを60分間継続してくれることを期待している。」



(石木田毅志監督)

183	宇	山	龍	田	和	田	120
168	字	信	貴	二	輪	二	キ
180	宇	隆	知	一	花	二	ホ
170	宇	尚	仁	二	花	一	コ
169	宇	一	聰	一	花	二	ホ
185	宇	尚	登	二	花	二	コ
173	宇	一	城	一	花	一	コ
170	宇	和	也	二	花	二	コ
165	宇	丈	史	二	花	二	コ
172	宇	裕	二	一	花	二	コ
168	宇	孝	喜	二	花	二	コ
173	宇	友	喜	二	花	二	コ
174	宇	拓	馬	二	花	二	コ
169	宇	和	真	二	花	二	コ
180	宇	優	紀	二	花	二	コ
178	宇	謙	太	二	花	二	コ
172	宇	志	郎	二	花	二	コ
165	宇	倉	幸	二	花	二	コ
171	宇	藤	輔	二	花	二	コ
172	宇	島	匠	二	花	二	コ
163	宇	陽	希	二	花	二	コ
165	宇	悠		二	花	二	コ

175	宇	健	90
172	宇	真	キ
170	宇	亮	ホ
183	宇	志	コ
167	宇	平	ホ
172	宇	郎	コ
170	宇	大	コ
175	宇	大	コ
177	宇	平	コ
172	宇	朗	コ
180	宇	大	コ
173	宇	大	コ
175	宇	大	コ
173	宇	大	コ
167	宇	大	コ
166	宇	大	コ
181	宇	大	コ
160	宇	大	コ
166	宇	大	コ
175	宇	大	コ
172	宇	大	コ
177	宇	大	コ

秋田

「思い」を出し尽くす

部長 森合秀夫 監督 近藤周平

昨年の不完全燃焼から1年。遅まきながら、ようやく「チームの形」になってきた。春先こそ、パツがそろわず偏った戦い方を余儀なくされたが、夏を経て秋高らしさが戻ってきた。経験不足は否めないものの、常に先手を抑え、集中力で勝負したい。安田主将を中心に8人の3年生の頑張り



裕塚健春	183	88
介真健	178	114
谷林	177	79
南野東	180	76
鹿野南	178	74
鹿野南	165	77
鹿野南	178	80
鹿野南	181	83
鹿野南	175	68
鹿野南	180	75
鹿野南	160	62
鹿野南	182	75
鹿野南	173	90
鹿野南	174	100
鹿野南	178	72
鹿野南	171	78
鹿野南	174	74
鹿野南	170	72
鹿野南	170	62
鹿野南	175	81

(近藤周平監督)

秋田工

完全燃焼し相手粉碎

部長 梁瀬 章 監督 黒澤光弘

春からの大会に照準を合わせ、基本の習得と、ラグビーの熟知度を高めることに時間をかけ鍛えてきた。選手たちは着実に力を付け、チームは完全に仕上がりに、決戦の時を待つばかりである。伝統の前に出る激しいタックルと旺盛な闘争心で完全燃焼し、粉碎したい。2年間遠ざかっている花園の芝を3年生にはせび踏ませてあげたい。「一走、一タックル、トライ！」



井谷浜上	183	75
石泉良井	170	113
木	177	90
木	184	92
木	192	80
木	170	66
木	181	86
木	166	66
木	170	63
木	176	75
木	172	73
木	172	63
木	174	75
木	169	85
木	177	98
木	183	78
木	162	58
木	171	68
木	170	76
木	173	76
木	188	94

(黒澤光弘監督)

秋田南

熱いラグビーで勝利

部長 相原 究 監督 伊東真吾

今年もチームのテーマは、「日本一熱いラグビー」を目標に努力をしてきた。春シーズンは、けが人が多く、満足のいく試合ができなかった。9月に入り3年生がチームに戻りチーム力が上がってきた。主将の大森を中心に、ひたむきな、日本一熱いラグビーでタックルをしまくり勝利する。



雄	177	80
雄	174	78
雄	174	80
雄	175	94
雄	178	69
雄	172	69
雄	171	64
雄	178	73
雄	176	67
雄	179	70
雄	170	70
雄	170	65
雄	166	70
雄	173	98
雄	183	137
雄	174	58
雄	171	73
雄	165	60
雄	165	48
雄	175	70
雄	171	64

(伊東真吾監督)

大館工

部長 明石 渉 監督 櫻庭大観

ことしは3年生が10人とメンバーの半数を占め、3年生主体のチームである。昨行われた秋田国体少年の明石監督が、部長に就任し、D.Fの練習を中心にチームづくりを行ってきた。日に日に個人の意識も高くなりチーム力も増してきている。得点能力は低い、一人一人が体を張り、激しいタックルから数少ないチャンスをもものに得点に結び付けていきたい。

(櫻庭大観監督)

体を張り勝機つかむ



169	宇野	東大	73
168	佐原	東大	64
166	木原	東大	72
183	吉原	東大	71
180	伊藤	東大	80
180	成	東大	71
180	大	東大	73
173	大	東大	64
168	大	東大	62
165	大	東大	81
173	大	東大	71
174	大	東大	60
170	大	東大	60
168	大	東大	60
167	大	東大	60
174	大	東大	96
170	大	東大	60
170	大	東大	70
175	大	東大	70

能代工

部長 小田切敢 監督 澤木賢一

2、3年生は少ないが、昨秋からひたむきに努力を重ねてきた。1年生も経験不足を補う練習量を重ね、チームもまとまってきた。副主将のS.O木藤がゲームメイクできれば、主将のナンバー8菊地とF.B原田が突破し、W.T.B栗山がフィニッシュする形が見えてくる。あとは、2年生がどこまで頑張れるかが勝負の鍵。15人で予選に臨む喜びを胸に初戦突破を狙う。

(澤木賢一監督)

喜び胸に初戦に臨む



168	雲南	1	86
170	代	2	59
167	代	3	85
167	代	4	61
168	代	5	58
170	代	6	48
161	代	7	74
166	代	8	68
165	代	9	57
168	代	10	65
169	代	11	59
167	代	12	69
178	代	13	56
165	代	14	62
170	代	15	62
178	代	16	73
167	代	17	60
168	代	18	56
172	代	19	53
172	代	20	50

男鹿工

部長 半澤一哉 監督 佐々木弘樹

「当たりの強さ」「前へ出る激しさ」が男鹿工の伝統である。その礎を築いたのが、24年もの長きに渡り指導した内藤徳男前監督。この伝統に恥じないプレーを選手には期待する。FWでは鈴木、友利に、BKでは天野、伊藤に「体を張った、的確な厳しい仕事」をやり抜き通してほしい。11年ぶりの花園出場は悲願でもあり。

(佐々木弘樹監督)

11年ぶり悲願達成へ



176	東	96
173	南	83
186	南	105
178	東	76
180	鹿	90
178	鹿	67
165	鹿	76
189	鹿	80
162	鹿	60
173	鹿	71
174	鹿	65
175	鹿	71
176	鹿	72
170	鹿	62
175	鹿	60
172	鹿	86
178	鹿	97
182	鹿	100
181	鹿	76
175	鹿	82
166	鹿	69
167	鹿	60
182	鹿	70
172	鹿	61
177	鹿	63